

題名：当院で摂食機能療法を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

| | |
|---------------------------------|---|
| 研究課題名 (承認番号) | 脳梗塞、脳出血患者における嚥下機能重症度と退院時経口摂取との関連についての後ろ向き研究 (2024-33) |
| 当院の研究責任者 (所属) | 高橋 健祐 (脳神経内科) |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の目的 | 本研究は、当院で Mann Assessment of Swallowing Ability (MASA) を施行した脳梗塞または脳出血で入院された患者さんを後方視的に検討し、入院後早期のMASAスコアで当院退院時に経口摂取が可能となるかどうかをどの程度予測できるかを明らかにするためのものです。 |
| 研究の方法 (利用する試料・情報) | 研究実施期間：倫理委員会承認後～2025年5月 下記該当期間に脳梗塞または脳出血で当院に入院し、言語聴覚士による摂食機能療法を行った患者さんを対象に、年齢、来院時の脳卒中重症度(NIHSS)、頭部画像所見、言語聴覚士が評価したMASAスコア、当院退院時の嚥下障害の重症度(Food Intake Level Scale : FILS)、転帰についての情報を取得します。 |
| 利用する試料・情報の 該当期間 | 2017年1月～2024年10月 |
| 試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法 | なし |
| 個人情報の取り扱い | 利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| お問い合わせ先 | 電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：高橋 健祐 (所属：脳神経内科) |
| 備考 | |